

情 報 公 開 文 書

研究の名称	胃癌手術における合併症因子の検討
受付番号	3 9 1
研究機関の名称	富山赤十字病院
研究責任者	富山赤十字病院 外科 医師 北野悠斗
研究の概要	【研究対象者】 2019 年 1 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日までに定型的胃切除術が実施された患者を調査対象とします。 【研究の目的】 胃癌手術においては縫合不全や膵液瘻をはじめとする合併症に注意が必要であり、周術期合併症は胃癌術後の予後不良因子であることが知られています。安全な胃切除術を実施するにあたり、富山赤十字病院でこれまでに実施された手術成績をもとに周術期合併症のリスク因子に関して後方視的に検討を行います。診療録等の診療情報を収集、集計して行う観察研究であり、研究目的の侵襲を伴わず介入も行いません。 【研究方法】 診療情報を用いた後方視的研究。 個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日等）を削除し独自の符号を付し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。 【研究期間】 2019 年 1 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日 【研究結果の公表の方法】 学会や学術雑誌等で公表予定。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	Clavien-Dindo 分類 Grade2 以上を合併症ありと定義し、患者背景や腫瘍学的因子、術式、術者要因などをもとに、多変量解析によりリスク因子（オッズ比）を評価します。
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 外科 医師 北野悠斗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 担 当 者 富山赤十字病院 外科 医師 北野悠斗 電話番号 076-433-2222 受付時間 平日 14 時～16 時